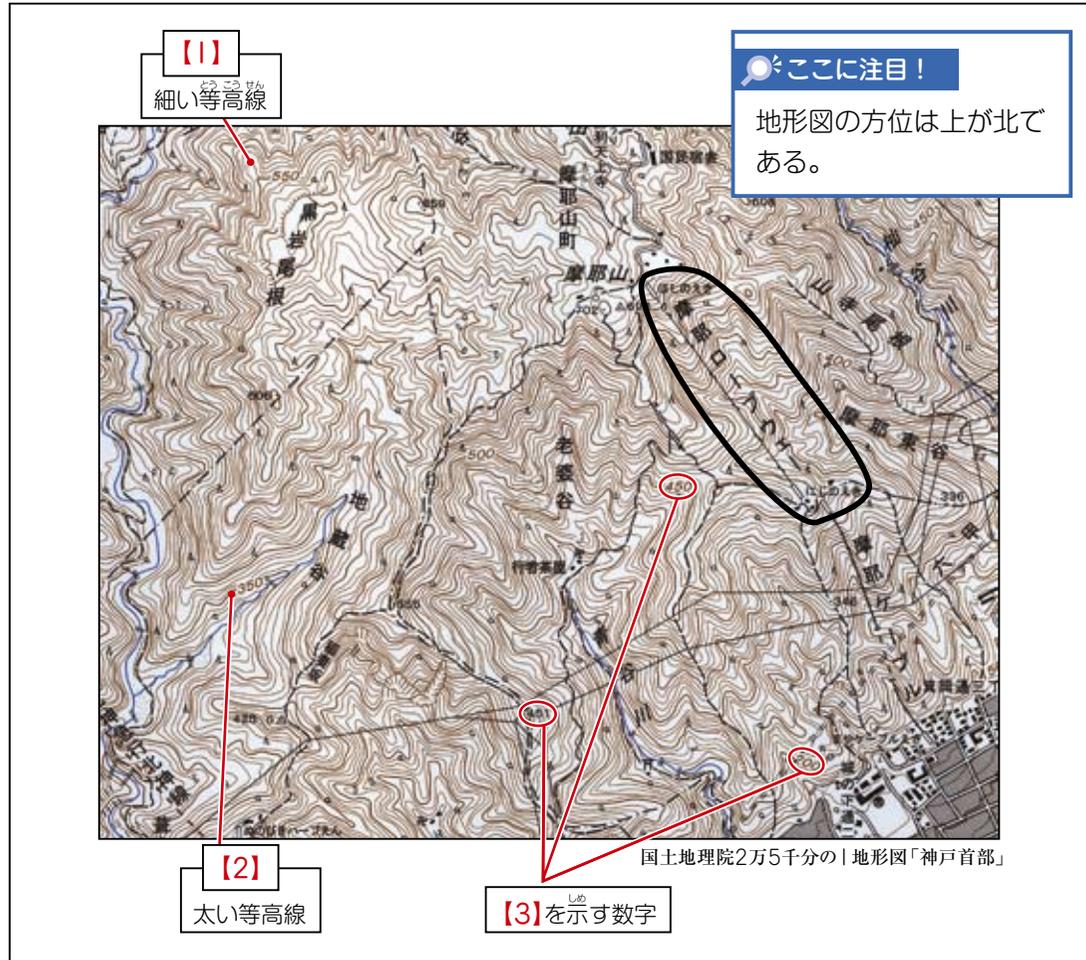


地図は、ある地域の様子を小さくわかりやすく表した図のことであり、地形図は、土地の高低や土地利用などを正確に表した地図のことです。

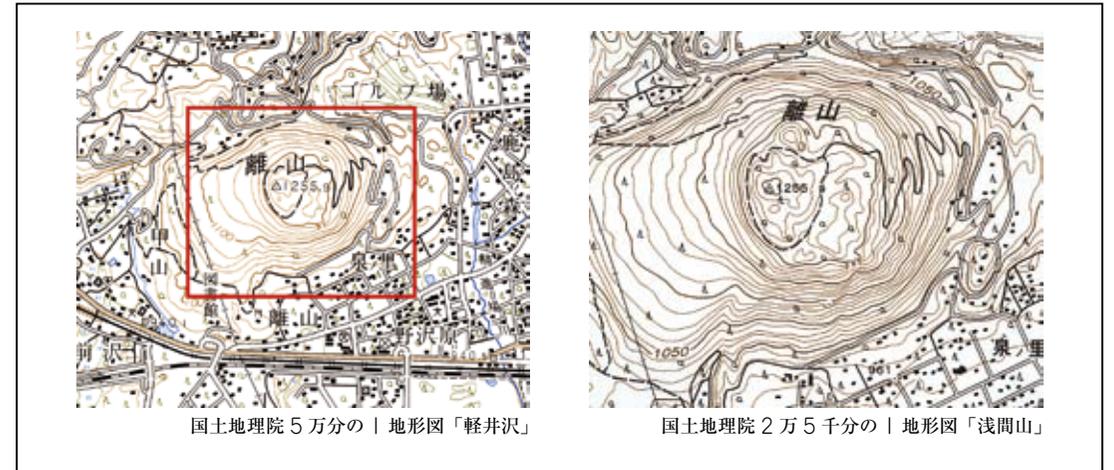


2万5千分の1地形図

地図は、実際の長さを縮めてえがかれています。この縮めた比率のことを、縮尺といいます。地形図には、2万5千分の1地形図や5万分の1地形図などがあり、それぞれ縮尺は2万5千分の1、5万分の1となります。

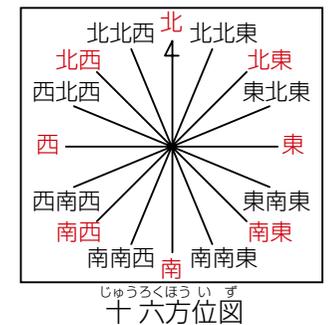
縮尺が示されていない地形図では、[4]から縮尺を判断することができます。[4]とは、同じ高さ([3])の地点を結んだ線のことです。細い[1]は、2万5千分の1地形図では10mごと、5万分の1地形図では20mごとにえがかれます。太い[2]は、2万5千分の1地形図では50mごと、5万分の1地形図では100mごとにえがかれます。

縮尺がわかれば、「地図上の長さ×縮尺の【5】=実際のきより」で、実際のきよりを求めることができます。左ページの2万5千分の1地形図の中で、黒丸で囲んだ「摩耶ロープウェー」の2駅間の実際のきよりは、地図上で約3.5cmですから、3.5cm×【6】=87500cm=875mとなります。



5万分の1地形図と2万5千分の1地形図の範囲

縮尺の【5】が小さいほど、「縮尺が大きい」といいます。上の2つの地形図を比べてみましょう。2万5千分の1地形図と5万分の1地形図では、2万5千分の1の方が、縮尺の【5】が小さいため縮尺が大きい地図となります。縮尺が大きい地図ほど、表す範囲がせまくなり、一方、縮尺が小さい地図ほど、表す範囲が広くなります。



また、地形図の方位は、上が【7】です。地図はふつう上が【7】ですが、そうでない場合は、方位記号が示されます。方位は、四方位や八方位、【8】などで表されます。

ポイント 地形図の読み取りでは、まず縮尺を考えよう!

- 地形図の縮尺…2万5千分の1、5万分の1など
- 等高線…主曲線と計曲線があり、その間隔から縮尺がわかる

入試ではここが問われる!

- 地形図の縮尺および、実際のきよりや面積を問う問題が出されます。
- 地図での位置や方向などを方位で答える問題が出されます。



地形図では、主に等高線によって、土地の高低や起伏、けいしゃを読み取ることができます。

地形図

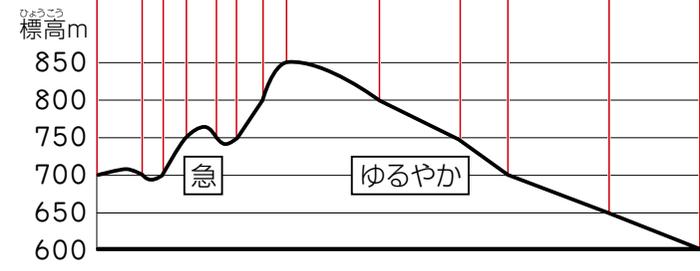
ここに注目!
等高線の間隔が、せまいところは急な斜面、広いところはゆるい斜面。

[2]
等高線が高い方に向かって食いこんでいる。

[3]
等高線が低い方に向かって出っ張っている。

450mに計曲線があるということは、**[1]**分の地形図である。

断面図



地形図と断面図

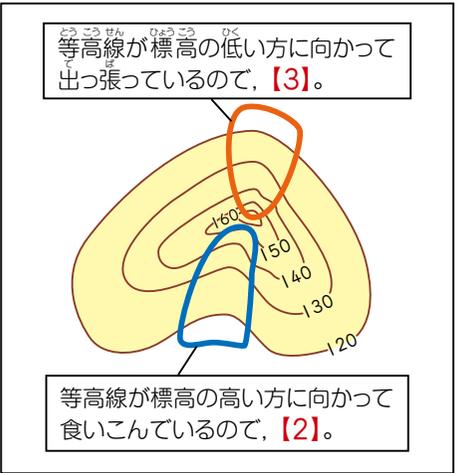
上の地形図の縮尺は、地図の東の端の「草崎川」と「大川川」の間に書かれている「450」mの計曲線から、**[1]**分のものであることがわかります。

等高線の種類

	2万5千分の1地形図	5万分の1地形図
主曲線 (細い線)	[4] m ごとに引かれる。	[5] m ごとに引かれる。
計曲線 (太い線)	[6] m ごとに引かれる。	100 m ごとに引かれる。

左ページの地形図の「大川川」は、地図の北西の標高700mあたりを水源として、標高の低い南東に向かって流れています。川は、高い地域から低い地域に流れていきますので、一般に、川の上流ほど標高が高く、下流ほど標高が低くなります。川の流れる向きを判断するには、付近の標高を参考にするとよいでしょう。

左ページの地形図には、等高線がびっしりとジグザグに引かれています。「大川川」付近の等高線は、川の上流に向かって食いこんでいます。また、線で囲んだ「大川川」の支流から「東伊豆町」の文字付近にかけての等高線も、標高の高い方に向かって食いこんでいます。この部分は、**[2]**となっています。一方、「箒木山」の山頂から線で囲んだ地域の等高線は、標高の高い方から低い方に向かって出っ張っています。この部分は、山の高い部分が連なった**[3]**の部分です。



尾根と谷

左ページの地形図と、●～●間の直線部分の断面図を見比べてみましょう。直線の左側は等高線の間隔が**[7]**地域であり、直線の右側は等高線の間隔が比較的**[8]**地域です。これを断面図で見ると、土地のけいしゃがよくわかります。つまり、直線の左側の等高線の間隔が**[7]**地域は、けいしゃが急で起伏が激しいですが、直線の右側の等高線の間隔が**[8]**地域は、けいしゃが比較的ゆるやかです。

ポイント 等高線の引かれ方から地形を読み取ろう!

- 特徴のある地形…谷、尾根
- 断面図…等高線をもとに断面図をえがく

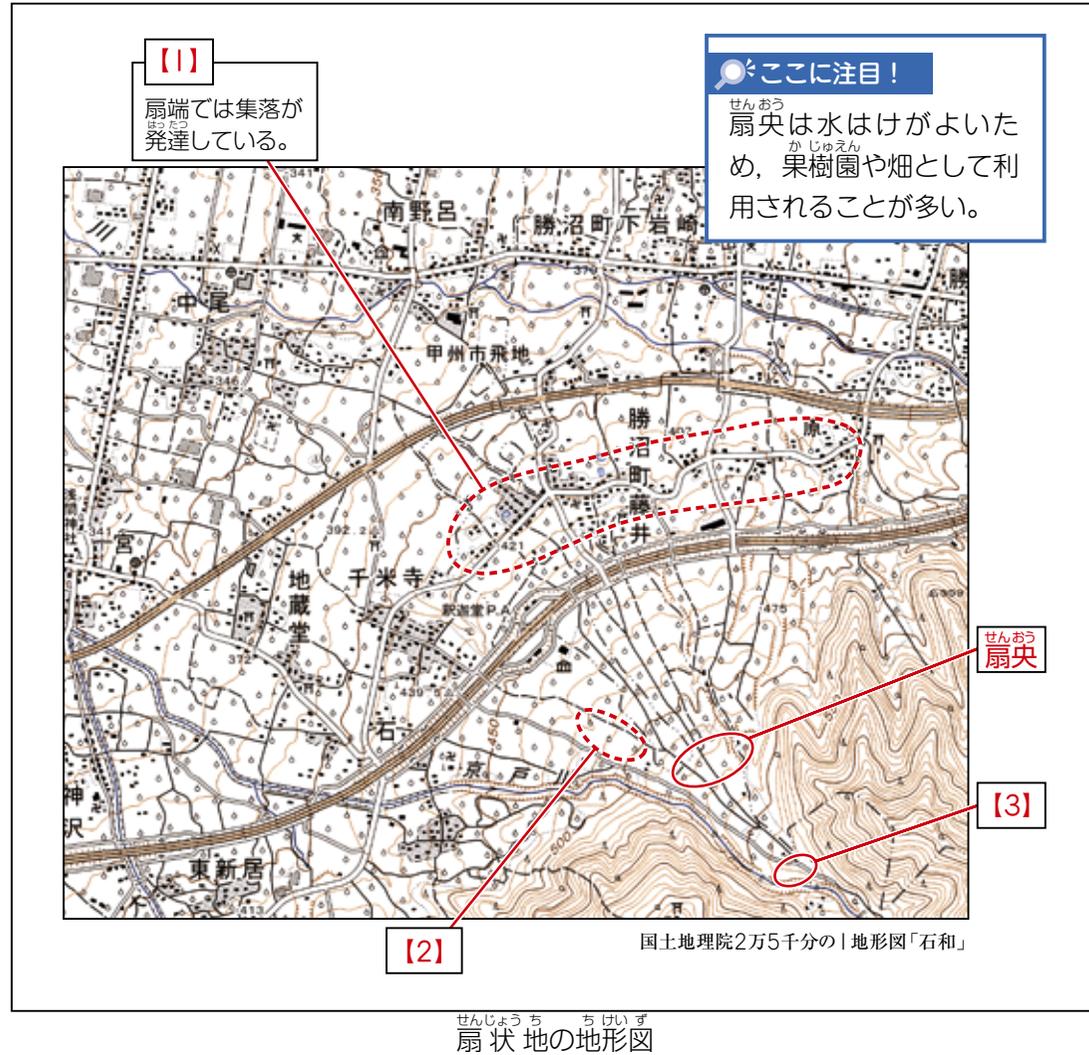
入試ではここが問われる!

- 出題の地形図に対する正しい地形の断面図を選ぶ問題が出されます。
- 地形図から標高を読み取り、川の流れる方向を答える問題が出されます。

30 地形と土地利用の読み取り



地形図では、土地利用の情報などが、地図記号を使って表されます。土地の
使われ方や植物の種類なども、地図記号によってある程度までわかります。



扇状地の地形図

上の地形図は、山梨県にある [4] を示しています。土地の利用を示す地図記号は、地図の南東部に位置する標高の高い地域では、△ (5) や Q (6) があり、扇央から広がるなだらかなけいしゃの土地では、○ (2) が多く見られます。[4] の特に扇央は、水持ちが悪い=水はけがよいという点から、[2] が多くなっています。上の地形図の扇央では、気候の利点も生かし、ぶどうやももの栽培がさかんです。

扇状地のまとめ

	特徴
成り立ち	川が山地から平地に出るところに土砂が積もってきた。
地形の特徴	谷の入口を中心として平地に向かって扇のように広がった、なだらかなけいしゃの土地。扇の持ち手に当たる部分を [3]、中央を扇央、扇の広がった部分を [1] と呼ぶ。
集落の立地	水が確保しやすい [1] か、[3] に多い。
土地利用	扇央は、つぶのあらい土砂が多いため、水はけがよく、昔は [7] や桑畑、近年は [2] に利用されることが多い。[8] は、水が確保しやすい [1] に多く作られた。

地図記号には、土地の使われ方や植物の種類を表すものがあります。これらの記号によって、水はけがよいか、高地であるか、温暖であるかなど、その地域の地形や気候の様子もわかることがあります。また、[2] などは、地図記号からは果樹の種類まではわかりませんが、地形図に示された地域の生産量の多い品目がわかれば、果樹の種類のおおよその見当をつけることもできます。

土地利用を表す地図記号

記号	意味	解説	記号	意味	解説
	[8]	水田	Q Q	[6]	サクラやカシなどの林
∨ ∨	[7]	畑や牧草地	△ △	[5]	マツやスギなどの林
○ ○	[2]	木になる果物を育てている土地		あれち荒地	あれている土地 耕作に適さない土地
Y Y	桑畑	桑を育てている土地	⋯ ⋯	茶畑	茶を育てている土地

ポイント 土地利用の地図記号から、土地の特徴を推測しよう！

- 主な地図記号…田・畑・果樹園・広葉樹林・針葉樹林など
- 扇状地の特徴…扇頂・扇央・扇端から成る。果樹園が多い。

入試ではここが問われる！

- 地形図の地図記号を読み取り、土地利用を答える問題が出されます。
- 地図記号から、その地域の特徴を推測する問題が出されます。

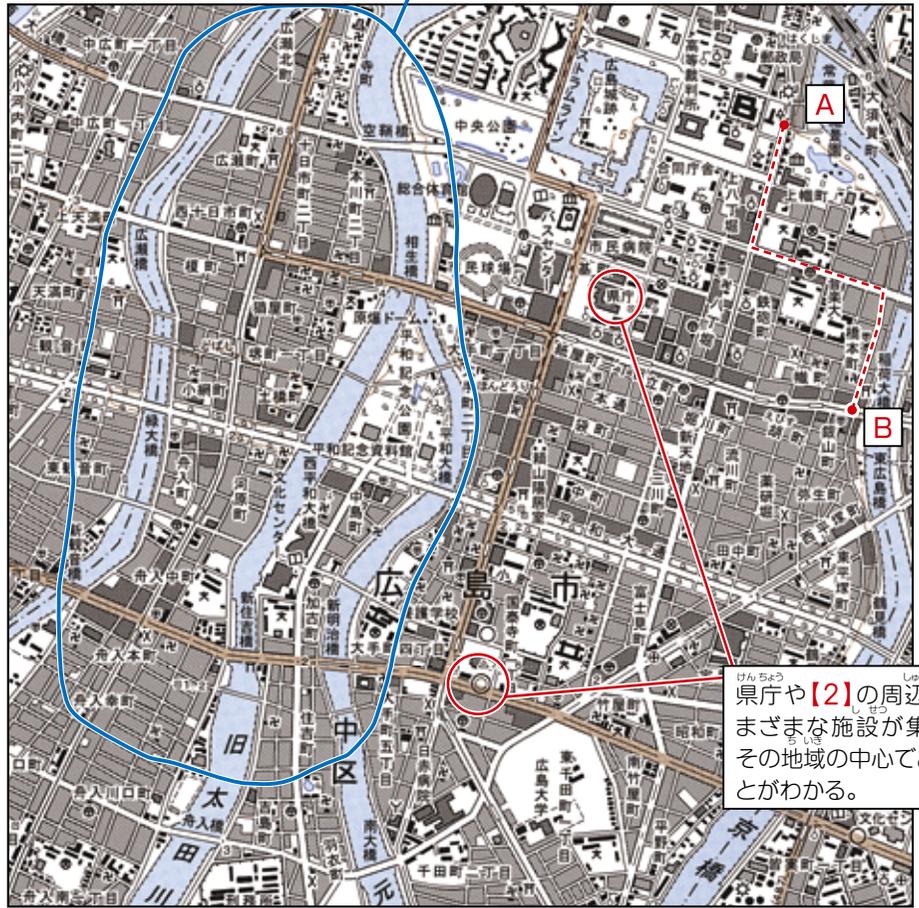
31 市街地の読み取り

地図記号には、建物の使用を表す記号と建物の使用を表す記号もあります。市街地の地形図では、こうした地図記号を数多く見ることができます。

ここに注目！

海に近い地域のため、等高線はあまり見られず、ほぼ平らである。

ほぼ平らな河口付近の土地に大きな川が何本も流れているところに、【1】ができる。



県庁や【2】の周辺は、さまざまな施設が集まり、その地域の中心であることがわかる。

国土地理院2万5千分の1地形図「広島」

三角州にある市街地の地形図

上の地形図は、【1】にある広島市の様子を示しています。

三角州のまとめ

	特徴
成り立ち	川が海や湖に流れこむ河口付近に土砂が積もってできた。
地形の特徴	三角形のような形。川の下流で流路が複数に分かれる。
集落の立地	水が確保しやすく、平らな土地であるため、集落ができやすい。大きな市街地に発達することも多い。

広島市の市街地の様子を、左ページの地形図から読み取ってみましょう。さまざまな建物などを表す地図記号がえがかれています。

建物などを表す地図記号

記号	意味	記号	意味	記号	意味
◎	【2】 東京都の区役所	◇	税務署	☼	【6】
⦿	官公署	文	小・中学校	卍	【7】
△	【3】	⊗	高等学校	卍	【8】
∩	【4】	⊕	【5】	⌘	博物館・美術館
⊗	警察署	⊕	病院	⌘	城跡
X	交番	二	橋		

左ページの地形図のA地点からB地点までを歩いた場合の、説明例を挙げます。
【3】が西にある路面電車の駅から、南南西の方向に歩く。少し進むと、右手側には税務署、左手側には美術館がある。道の西側は多くの官公署がある。小・中学校がある角を左に曲がった。小・中学校の横には高等学校があり、高等学校の道をはさんで南には、【5】がある。そこから250mほど歩いて、細い道を右へ曲がった。建物が密集した道の右手側には病院があり、少し歩くと【7】があった。【7】の先には神社もあり、道を進むと、路面電車が走る大きな通りに出た。

ポイント 建物の地図記号を覚えて、地形図を読み取ろう！

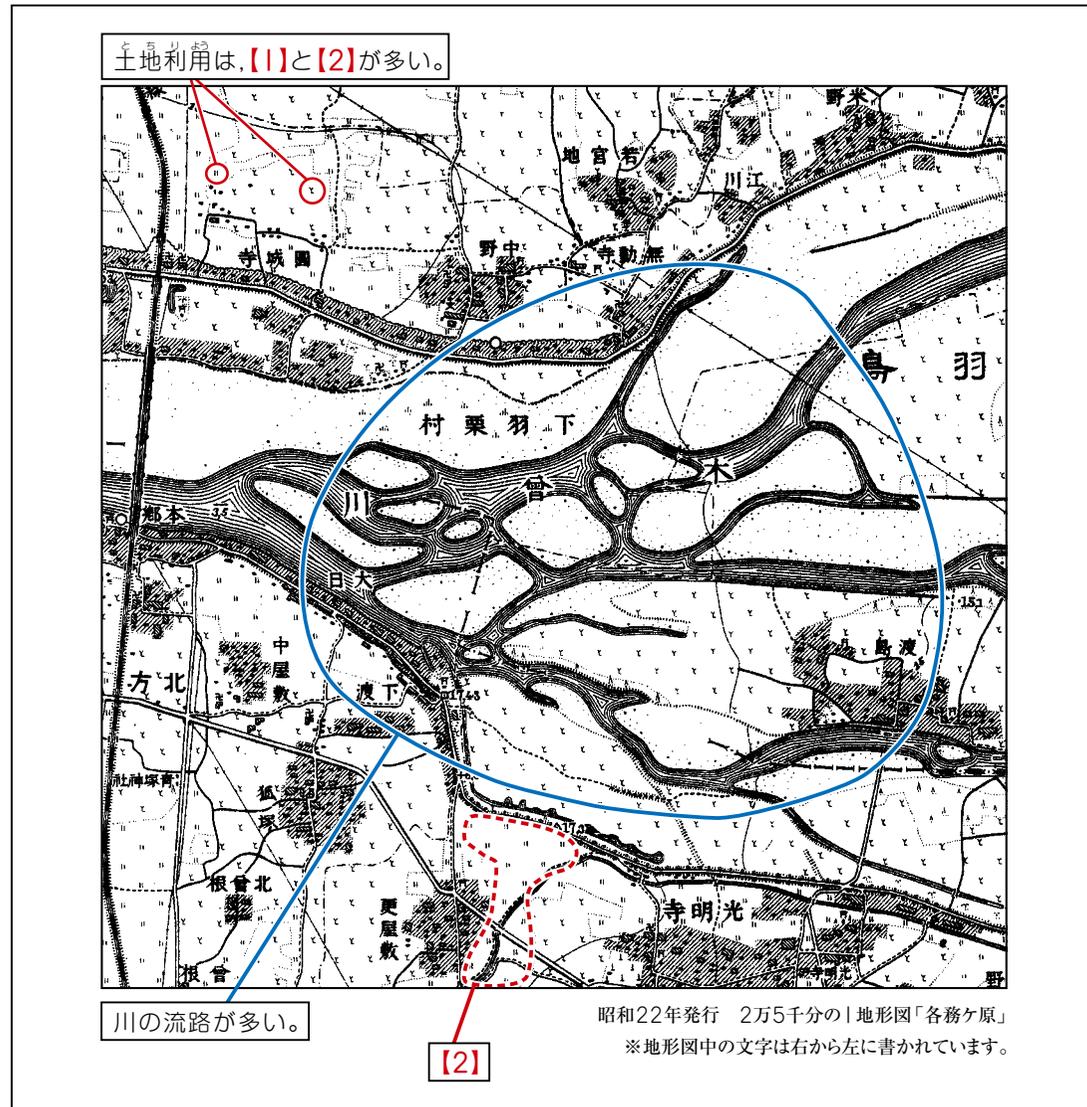
- 主な地図記号…市役所・学校・郵便局・病院・図書館など
- 三角州の特徴…平らで大きな川が複数流れている所。市街地が多い。

入試ではここが問われる！

- 建物を表す地図記号をえがく問題が出されます。
- 道順の説明通りに地形図が読み取れるかを問う問題が出されます。

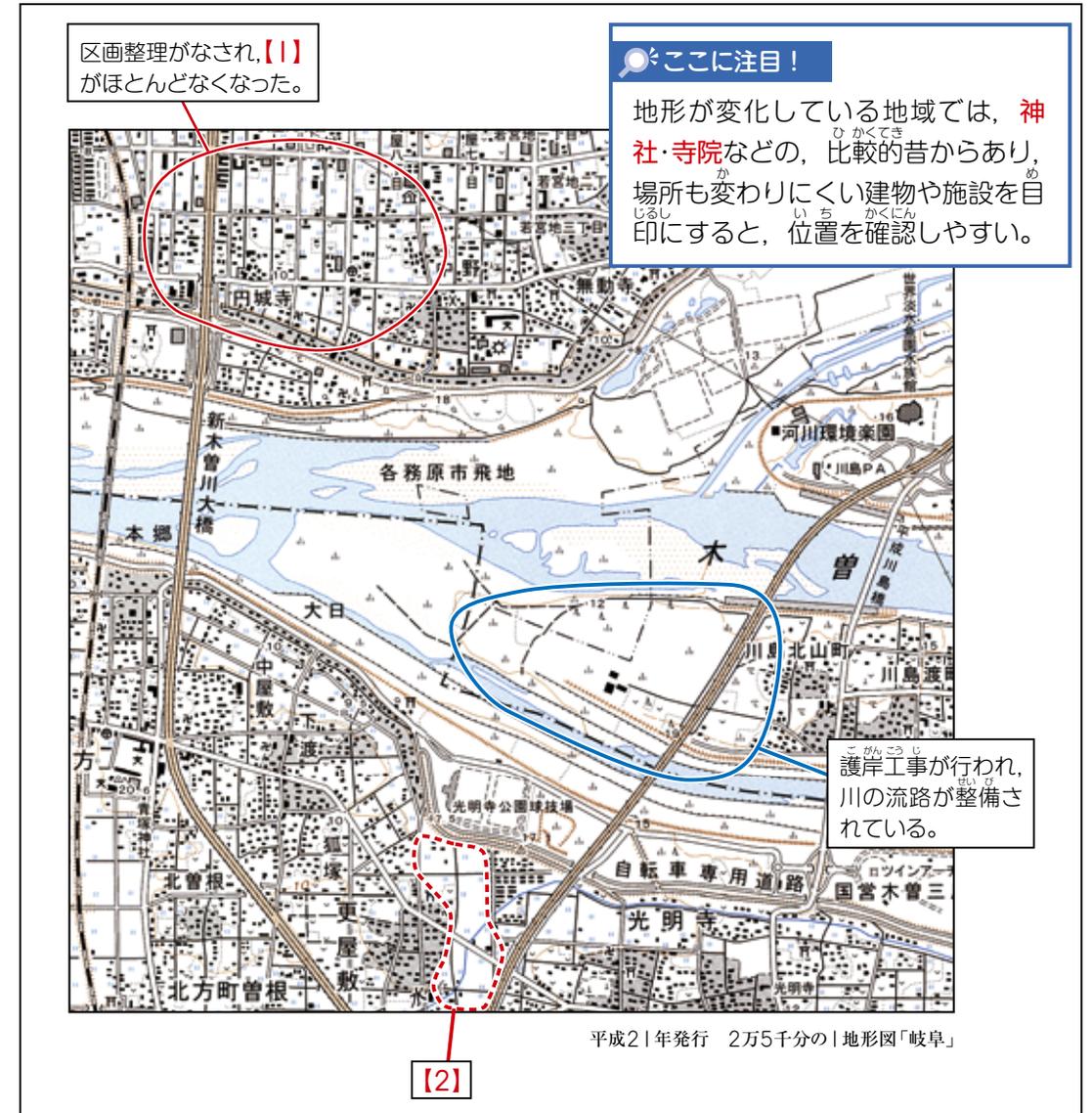
32 地図の比較

土地は開発されて変化していきますが、地図も、測量や調査をし直して、内容を新しくしています。同じ地域の発行年がちがう地図を見比べると、地形や土地利用の変化がわかります。



昔の地形図

上の昔の地形図と、右ページの新しい地形図は、同じ地域を同じ [3] で表したものです。これらを見比べ、地図記号の変化や移動などから、地形や土地利用、建物・施設の立地の変化を読み取り、開発の様子を理解しましょう。



新しい地形図

ポイント 新旧地形図の比較では、地形の変化や地図記号の移動に注目！

入試ではここが問われる！

- 新旧地形図から、開発の様子を読み取る問題が出されます。
- 新旧地形図で、移動した建物・施設を問う問題が出されます。